6月11日（金）

朝　関西から空路ソウルへ
　　ソウル（仁川空港）から旌善へ（専用車）
夜　金南基先生との交流
　　ご自宅で手料理をいただきながら
　　旌善泊（韓式旅館）

6月12日（土）

11am　旌善市場での公演
夕　旌善から江陵へ（専用車）
夜　江陵端午節句祭　前夜祭
　　江陵泊（韓式旅館）

6月13日（日）

終日　江陵端午節句祭観覧
　　江陵泊（韓式旅館）

6月14日（月）

　　江陵からソウル（仁川空港）へ（専用車）
夕　ソウルから空路関西へ

江陵の端午節句祭

（ユネスコ世界無形文化遺産指定）

旧暦5月5日となる端午の日の前後に開かれる江陵の端午節句祭は端午祭礼と官奴仮面劇を中心とした祭りです。会場では今も人々の信仰を集めるシャーマニズム的儀礼が次々と展開されます。

私たちが立ち会う前夜祭と祭りの第1日目の詳細が気になるところですが、韓国の祭りの習慣に従って直前までプログラムは発表されません。

写真提供：韓国観光公社

旅 行 条 件

■**旅行代金**　128,000円
（関西空港発着・２人部屋利用の場合）
※成田など他の空港からの発着はお問い合わせください。

■**一人部屋追加料金**：14,000円（３泊分）

■**旅行代金の他に必要な費用**（4月1日現在）

関西空港使用料	2,650円
現地空港税	2,410円
燃油特別付加運賃	1,000円

■**使用予定航空会社**：アシアナ航空

■**最少催行人員**：10名

■**食事**：なし
※食事の費用は、その都度、実費でお支払いいただきます。
※６月11日（金）金南基先生宅での食事は旅行代金に含みます。

■**旅程管理**：添乗員が同行します。
※6月14日、ソウル仁川空港まで同行

詳しい旅行条件を説明した書面をお渡ししますので、
事前にご確認の上お申し込みください。

本場のパンソリを聴く会

私たちが旅を始めたのは1994年。
以来、韓国の田舎の祭りを
歩き続けて来ました。

金南基さんがはじめの一節を唄い終わると、バトンを受け取るかのように次の唄い手がそれに応じます。そのやりとりが延々と続きます。このように「旌善アリラン」には日本ではすっかり聞くことが出来なくなった生活の歌としての「歌垣」の典型があります。「うた」とは本来、このようなものだったのでありましょう。金南基さんは道指定無形文化財の名人ですが、歌うことが大好きな、普通の農家のオジサンです。それが何よりも嬉しいところです。あの飾り気の無い淡々としたお声を今年もまた聞くことができます。

中山　一郎
「本場のパンソリを聴く会」代表／大阪芸術大学教授

※今回の旅行ではパンソリを聴く機会はありません。

交流企画　本場のパンソリを聴く会（代表、中山一郎大阪芸術大学教授。事務局、（株）マイチケット 山田）